



下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2012. 7. 17

下水道機構の『新技術情報』 第53号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>



本日、四国、中国、近畿、東海、関東甲信地方で梅雨が明けたようです。一方で九州北部では豪雨災害に見舞われています。犠牲になられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さまへお見舞い申し上げます。また台風7号も接近しているとのことですので、どうぞお気をつけください。

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第53号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

■□■□トピックス■□■□■

★インフォメーション

- ・下水道展'12 神戸において機構の取り組みを発信します
- ・下水道研究発表会で当機構から 14 編の研究成果の発表を行います
- ・機関誌・下水道機構情報No.17、下水道新技術研究所年報（要約版）を発行しました
- ・7月10日(火)に平成24年度第1回水処理新技術実用化評価委員会が開催され、中間報告：2件について、審議が行われました

★機構の動き

- ・今週は、7月19日(木)に第2回 横須賀市下水処理場等の津波対策基本計画に関する検討委員会と第1回 新技術設計手法等共同研究委員会が、7月20日(金)に技術マニュアル活用講習会が開催されます

★Tea Break

- ・夏は高校野球（研究第一部 元球児さんからの投稿です）

★【新コーナー♪】まる子のゆいまる

- ・今回は、当機構研究第二部 池田部長より海外出張報告【シンガポール国際水週間6月30日～7月7日】をお届けします！

★国からの情報

- ・7月13日 付け下水道ホットインフォメーション

インフォメーション (最新の話題です)

●下水道展'12 神戸において機構の取り組みを発信します。

7月24日(火)から27日(金)までの4日間、世界に誇る技術の祭典「下水道展'12 神戸」が神戸市・神戸国際展示場で開催されます。

本機構の取り組みは、2号館1F（小間番号P-7）でご覧いただけます。今年のメインは、東日本大震災関連として当機構が取り組んだ「津波シミュレーションを活用した被害想定」や「BCPマニュアルの改訂」など震災対策の研究です。また、震災に伴う電力不足から注目されている「資源・エネルギー化技術」や、「ストックマネジメント」、「衝撃弾性波による管路診断」、「浸水対策」等の研究成果、さらに審査証明交付技術を含む当機構の主な

活動を、パネル、リーフレット等を使って分かりやすくご紹介いたします。津波シミュレーション、リアルタイム雨水情報システム、衝撃弾性波による管路診断等は、パソコンによるデモや動画による説明も予定しています。下水道技術に関する各種相談もお受けしますので、お気軽にお立ち寄りください。なお、最終日の27日(金)13:20からは、2号館2階「2B会議室」で技術マニュアル活用講習会も開催します。下水道展とあわせて是非ご参加下さい。

●下水道研究発表会で当機構から14編の研究成果の発表を行います。

今年も当機構から14名の職員が新技術に関する研究成果の発表を行い、成果を広く一般に普及するとともに、技術者との交流を通じて技術研鑽を図ります。日時は、7月24日(火)15:35から26日(木)16:25にかけてです。詳しいプログラムはこちらからご覧いただけます
→ <http://www.jiwet.jp/pdf/kenkyuhappyoukai2012.pdf>
多数の皆様のご聴講及びご質問等をお待ちしています。

●機関誌・下水道機構情報No.17、下水道新技術研究所年報(要約版)を発行しました。

この度「機関誌・下水道機構情報No.17」、「新技術の橋わたし」、「2011年度下水道新技術研究所年報(要約版)」、「2011年度技術マニュアル・技術資料(CD版)」を発行し、地方自治体等の皆様へ送付いたしました。

今回の機関誌は「震災特集」です。これまでの当機構の震災関連の取り組みをまとめてご紹介しています。今年度4月発行の前号は「資源・エネルギー特集」でしたので、これとあわせてご覧ください。また、「橋渡し」は、当機構の業務内容を紹介するリーフレットです。今回、主な研究内容を追加し、当機構の取り組みを分かりやすくしました。さらに、「年報」、「技術マニュアル・技術資料」は、最新の技術内容を紹介するものです。是非、業務等にご活用ください。

●7月10日に平成24年度第1回水処理新技術実用化評価委員会が開催され、中間報告：2件について、審議が行われました。

はじめに、中間報告として福岡市との共同研究である「NADHセンサーを用いた風量制御による窒素除去法に関する実用化研究」について審議が行われました。本研究は、福岡市の東部水処理センターにおいて、平成23年12月から実証運転が実施されています。前回の委員会では実証運転開始直後の運転状況等について報告を行っていますが、今回は5月末日までに得られた水質データをもとに、窒素及びリンの処理状況や消費電力量の試算に関する報告を行いました。審議の結果、消費電力量の算出については多くの意見が挙がり、今後、表現方法等について検討が行われる予定となっています。なお、本審議内容については、8月の技術委員会で報告される予定です。

次に、東京都との共同研究である「雨水吐口付近に設置可能なコンパクトな合流改善技術に関する実用化研究」について審議が行われました。今回の委員会では、本年5月から開始した実証実験について、標準ろ層厚(80cm)下での各Runにおける濁度とろ過圧損、逆洗頻度、水質分析結果、BOD/SS除去率等のデータが中間報告され、逆洗による未処理時間を考慮した有効処理率やBOD/SS除去率の算定方法等を含む実証実験の内容全般についての審議が行われました。今後は、引き続き標準ろ層厚条件での各種実証実験を行い、所要のデータを取得した後、ろ層厚低減実験に着手する予定です。

機構の動き (機構の行事予定です)

●7月19日(木) 13:00~17:00

第2回 横須賀市下水処理場等の津波対策基本計画に関する検討委員会
場所：横須賀市西浄化センター

●7月19日(木) 15:30~17:00

第1回 新技術設計手法等共同研究委員会
場所：下水道機構8階 中会議室

●7月20日(金) 13時20分~16時40分

技術マニュアル活用講習会【東京会場】場所：下水道機構8階 中会議室

7月27日(金) 13時20分~16時40分

技術マニュアル活用講習会【神戸会場】
場所：神戸国際展示場2号館2階2B会議室(下水道展の併催行事)

内容：平成23年度作成の技術マニュアル・技術資料(全5件)の説明
※技術マニュアル講習会【東京会場・神戸会場】のお申し込みはこちら
→ <http://www.jiwet.jp/school/school-05-07.htm>

●7月24日(火)~27日(金)

下水道展への出展及び研究発表会での成果発表
場所：神戸国際展示場2号館(P-7)等

Tea Break (機構職員の感じるまま)

●夏は高校野球(研究第一部 元球児さんからの投稿です)

お疲れ様です。いよいよ夏本番です。

皆様は夏と言えば何を連想しますでしょうか。私の場合はどうしても高校野球です。理由としては現在行われている夏の地区予選ですが、OBとして毎年母校野球部の戦績が必ず気になるからです。

過去3回甲子園出場の母校もここ数年低迷していましたが、昨年久々に東京地区予選の準決勝まで勝ち進み、その時は私自身神宮球場まで応援に行こうと思いましたが、偶然にも自分の下水道研究発表会の当日と重なってしまい残念ながら応援に行けず、かつ試合に敗れてしまったという苦い思いがあります(正直言いますと、研究発表よりもこちらの試合の方が気になってたかもしれません)。

今年についても母校は昨年度の主力メンバーが残り、かつシード校とのことでかなり期待できるとのことで、勝ち進めば応援に行きたい思いもありますが、ちょうど準決勝まで勝ち進むとまた下水道研究発表会と重なりそうで、しかも今年の開催場所は神戸であります。このため今年も地区予選の神宮球場への応援は少し難かしそうですが、是非代表権を勝取り甲子園まで応援行ければと、多忙な最中ではありますが切望している今日この頃で

○「水ビジネスと標準化」シンポジウムが開催されます【下水道企画課】

「水」に関わる市場は、現在国際的に大きく拡大しつつあります。そして世界環境サミット（R I O + 2 0）においても2番目に大きな課題になっています。世界各国で様々な技術が開発され市場獲得に凌ぎを削っている中、我が国も、培ってきた高度な技術をもとに国を挙げて、国内外の市場獲得に取り組んでいます。最も普遍性のある国際標準を作成する組織、I S O（国際標準化機構）でも、「水」は重要な開発テーマとなっており、I S O理事会及び個別技術委員会で、標準化戦略の作成及び規格開発を行っております。この度、一般財団法人日本規格協会では、「水」の重要性を鑑み、水メジャーのベオリアと活動を共にする Mrs. M?lanie Pinatton 氏をはじめ、海外の第一線で活躍している国内外の方々をお招きして水ビジネスと標準化に関するシンポジウム（同時通訳）を東京で開催いたしますので、お知らせします。先着 100 名です。この機会をお見逃しないよう是非ご参加ください。

プログラム、申込方法等については日本規格協会ホームページをご覧ください。

http://www.jsa.or.jp/water-workshop/tokyo_seminar.html

●宮城県阿武隈川下流流域下水道・県南浄化センターの復旧について

～10万m³/日の大規模下水処理場の水処理施設を1年3ヶ月で復旧完了～

【下水道事業団】

日本下水津事業団では、宮城県の委託を受けて、東日本大震災で大きく被災した県南浄化センターの復旧に取り組んでまいりました。この度、水処理施設全系列の復旧工事が完了しましたので、ご報告します。

詳細な報告内容はホームページをご覧ください。

<http://www.jswa.go.jp/kisya/h24pdf/240711kisya.pdf>

★図書のご案内☆

■丹保憲仁先生著『都市・地域 水代謝システムの歴史と技術』（鹿島出版会）の発刊について【下水道企画課】

（7月5日号掲載）

<http://www.kajima-publishing.co.jp/>

■「下水道事業の手引 平成24年版」が完成しました【下水道事業課】

（6月28日号掲載）

http://www.suido-gesuido.co.jp/blog/info/2012/06/post_43.html

■書籍『水ビジネスを制するための標準化戦略』を発行しました【日本規格協会】

（6月21日号掲載）

http://www.webstore.jsa.or.jp/lib/lib.asp?fn=/standard/std12_06.htm

=====

【参考情報】

◆近畿で大雨、姫路で床下浸水 阪和線では線路崩れる <7/7 朝日新聞>

<http://www.asahi.com/national/update/0707/OSK201207070052.html>

◆琵琶湖の水浴場 水質調査 「AA」4カ所、「A」2カ所 滋賀 <7/7 MSN 産

経ニュース>

<http://sankei.jp.msn.com/region/news/120707/shg12070702330004-n1.htm>

◆大雨で各地被害、237棟が破損や浸水 岡山 <7/9 朝日新聞>

http://mytown.asahi.com/okayama/news.php?k_id=34000001207090003

◆官民で水ビジネスを、市が推進組織を設立/川崎 <7/9 神奈川新聞>

<http://news.kanaloco.jp/localnews/article/1207080019/>

◆がれき受け入れ、宇部市が断念 /山口 <7/10 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/yamaguchi/news/20120710ddlk35040417000c.html>

◆大雨 諏訪の有賀峠で土砂崩れ、下諏訪では浸水被害 <7/10 信濃毎日新聞>

<http://www.shinmai.co.jp/news/20120710/KT120709FTI090024000.php>

◆JFEエンジニアリング、松山市で下水汚泥固形燃料化の実証を開始 <7/12 日経新聞>

<http://release.nikkei.co.jp/detail.cfm?relID=314311&lindID=5>

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～



発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニューズレターはこちらから → <http://www.jiwet.jp/newsletter/20120229/>

○コラムの正解はこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20120229/seikai2.pdf>

